

## 東工大発技術の活用事例～H a p b e a t 合同会社

本学 未来産業技術研究所の長谷川晶一准教授と山崎勇祐（現：総合理工学研究科博士1年）は、従来のボディソニック装置の大きさ・装着の欠点を解決した、新しい方式のボディソニック装置「hapbeat」を発明出願（国内特許出願：2015-170244、国際特許出願：PCT/JP2016/073420）し、このほど東工大発ベンチャーであるH a p b e a t 合同会社を設立し（平成29年1月4日）、ベータテストのための貸出を開始しました。

Hapbeat は音の振動を体に直接伝えることで、普段聞く音楽をライブ会場やクラブハウスで感じるような迫力と臨場感を体感できるネックレス型ウェアラブルデバイスです。そのコンパクトな見た目からは想像できないほどパワフルかつ繊細な音の振動を表現することができます。その振動はスマホやゲームコントローラーのような「おまけ」とは比べ物になりません

バスドラムの迫力のあるビートやベースギターの耳の奥に伝わる低音の響き、時には耳ではあまり聞こえない極低音の旋律が忠実に振動に変換され、あなたの体に伝わります。その体験はどんな高級ヘッドホンを使っても再現できない、聴覚+触覚で感じる新次元の音楽鑑賞です。

映画やゲームなどの効果音との相性もバツグンです。特に迫力のある爆発シーンや発砲シーンでは、その空気の震えを体で感じる事ができ、まるでその場にいるかのような没入感を感じることができます。

この体験はどんなに言葉や映像にしてもほとんど伝わりません。百「見聞」は一「体験」に如かず。ぜひHapbeat でしか味わえない新しい感覚を体験してください！

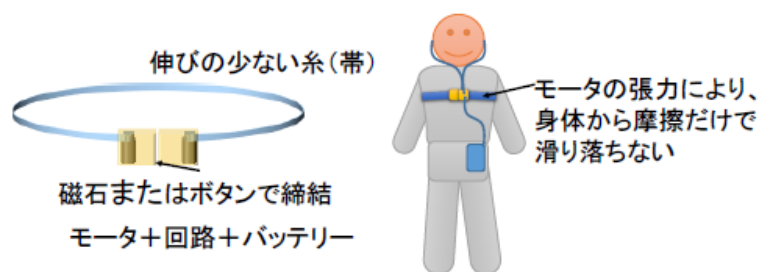
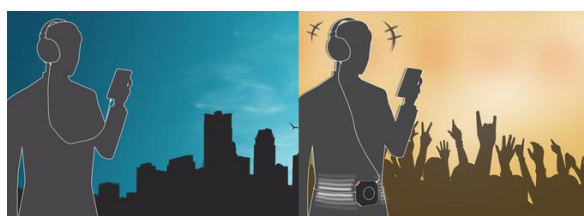


図1 提案装置のイメージ図



H a p b e a t 合同会社

設立：平成29年1月4日

代表社員：山崎勇祐

業務執行社員：山崎勇祐、織田龍人、長谷川晶一

下記写真参照：商品名

H a p b e a t 合同会社リンク先：<http://hapbeat.com/j/index.html>